

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2019年8月13日

【四半期会計期間】 第23期第2四半期(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

【会社名】 サイボウズ株式会社

【英訳名】 Cybozu, Inc.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 青野慶久

【本店の所在の場所】 東京都中央区日本橋二丁目7番1号

【電話番号】 03 - 4306 - 0808

【事務連絡者氏名】 経営戦略本部長 林 忠 正

【最寄りの連絡場所】 東京都中央区日本橋二丁目7番1号

【電話番号】 03 - 4306 - 0808

【事務連絡者氏名】 経営戦略本部長 林 忠 正

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

連結経営指標等

回次		第22期 第2四半期 連結累計期間	第23期 第2四半期 連結累計期間	第22期
会計期間		自 2018年1月1日 至 2018年6月30日	自 2019年1月1日 至 2019年6月30日	自 2018年1月1日 至 2018年12月31日
売上高	(百万円)	5,523	6,547	11,303
経常利益	(百万円)	1,085	1,254	1,194
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	(百万円)	685	735	653
四半期包括利益又は包括利益	(百万円)	671	725	608
純資産額	(百万円)	3,461	3,710	3,398
総資産額	(百万円)	7,660	9,046	7,328
1株当たり四半期(当期) 純利益	(円)	14.94	16.04	14.25
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益	(円)	-	-	-
自己資本比率	(%)	45.2	41.0	46.4
営業活動によるキャッシュ・フ ロー	(百万円)	640	1,089	1,598
投資活動によるキャッシュ・フ ロー	(百万円)	675	665	1,436
財務活動によるキャッシュ・フ ロー	(百万円)	538	588	412
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高	(百万円)	2,340	2,585	1,587

回次		第22期 第2四半期連結会計期間	第23期 第2四半期連結会計期間
会計期間		自 2018年4月1日 至 2018年6月30日	自 2019年4月1日 至 2019年6月30日
1株当たり四半期純利益	(円)	6.62	5.17

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

なお、当第2四半期連結会計期間において、持分法非適用関連会社であったKintone Australia Pty Ltdの全ての株式を取得したことにより、連結子会社にしております。

この結果、2019年6月30日現在では、当社グループは、当社(サイボウズ株式会社)、子会社5社及び関連会社2社により構成されることとなりました。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

当第2四半期連結累計期間における当社グループ(当社及び連結子会社)の財政状態、経営成績及びキャッシュ・フロー(以下、「経営成績等」という。)の状況の概要並びに経営者の視点による当社グループの経営成績等の状況に関する認識及び分析・検討内容は次のとおりであります。

なお、文中の将来に関する事項は、当第2四半期連結会計期間末現在において判断したものであります。また、当社グループ(当社及び連結子会社)の報告セグメントは「ソフトウェアの開発、販売」のみであり、その他の事業セグメントは開示の重要性が乏しいため、セグメントごとの記載を省略しております。

(1) 経営成績

	前第2四半期 連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)	当第2四半期 連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	対前年同期比 (増減額)	対前年同期比 (増減率)
連結売上高	5,523百万円	6,547百万円	1,024百万円	18.6%
営業利益	1,069百万円	1,252百万円	182百万円	17.1%
経常利益	1,085百万円	1,254百万円	168百万円	15.5%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	685百万円	735百万円	50百万円	7.4%

2011年11月に提供を開始したクラウドサービス「cybozu.com」は、ご利用いただいている契約社数が33,000社を超え、契約ユーザーライセンス数が130万人を突破し順調に増加しております。

このような状況下において、当第2四半期連結累計期間の連結業績については、自社クラウド基盤「cybozu.com」上で提供するクラウドサービスの売上が積み上がり、売上高は6,547百万円(前年同期比18.6%増)となりました。このうちクラウド関連事業の売上高は4,507百万円(前年同期比30.3%増)となっております。利益項目については、前年同期に比べ従業員数増加等による人件費の増加等があったものの、営業利益は1,252百万円(前年同期比17.1%増)、経常利益は1,254百万円(前年同期比15.5%増)となりました。また、法人税等計上後の親会社株主に帰属する四半期純利益については735百万円(前年同期比7.4%増)となりました。

(2) 財政状態

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第2四半期 連結会計期間 (2019年6月30日)	対前年比 (増減額)
資産合計	7,328百万円	9,046百万円	1,717百万円
負債合計	3,930百万円	5,335百万円	1,405百万円
純資産合計	3,398百万円	3,710百万円	312百万円

資産の部については、「cybozu.com」サービス用サーバー増設等による固定資産の増加や借入により現金及び預金が増加したこと等により1,717百万円増加し、9,046百万円となりました。

負債の部については、借入を行ったことによる短期借入金金の増加やユーザー数増加による前受金の増加等により、前連結会計年度末に比べ1,405百万円増加し、5,335百万円となりました。

純資産の部については、当第2四半期連結累計期間に735百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益を計上したものの、412百万円の剰余金配当を実施したこと等により、前連結会計年度末に比べ312百万円増加し、3,710百万円となり、自己資本比率は41.0%となりました。

(3) キャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前第2四半期連結累計期間末より244百万円増加し、2,585百万円となりました。

	前第2四半期 連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)	当第2四半期 連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	対前年同期比 (増減額)
営業活動による キャッシュ・フロー	640百万円	1,089百万円	449百万円
投資活動による キャッシュ・フロー	675百万円	665百万円	10百万円
財務活動による キャッシュ・フロー	538百万円	588百万円	49百万円

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動により獲得した資金は、1,089百万円(前年同四半期は640百万円の収入)となりました。これは前期に計上した広告宣伝費等の支払いによる未払金の減少があったものの、ユーザー数増加による前受金の増加に加え、税金等調整前四半期純利益を1,238百万円計上したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動により支出された資金は、665百万円(前年同四半期は675百万円の支出)となりました。これは前期に預け入れていた定期預金が満期となったことによる収入があったものの、クラウドサービス投資の一環としてサーバー等を取得したこと等による支出があったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動により獲得した資金は、588百万円(前年同四半期は538百万円の収入)となりました。これは配当金の支払いによる支出があった一方で、借入による収入があったことによるものです。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間における研究開発費の総額は240百万円です。

なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	193,428,000
計	193,428,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間 末現在発行数(株) (2019年6月30日)	提出日現在 発行数(株) (2019年8月13日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	52,757,800	52,757,800	東京証券取引所 市場第一部	単元株式数 100株
計	52,757,800	52,757,800		

(2) 【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
2019年4月1日～ 2019年6月30日		52,757,800		613		976

(5) 【大株主の状況】

2019年6月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (株)	発行済株式 (自己株式を 除く。)の総数 に対する所有 株式数の割合 (%)
畑 慎 也	東京都文京区	8,679,600	18.91
C b z サポーターズ株式会社	東京都中央区日本橋2丁目7番1号	8,067,900	17.58
サイボウズ従業員持株会	東京都中央区日本橋2丁目7番1号	2,543,800	5.54
山 田 理	東京都文京区	1,905,500	4.15
中 野 博 久	京都府京都市左京区	1,500,000	3.26
株式会社ブライツ	兵庫県芦屋市松ノ内町6-6	1,000,000	2.17
日本トラスティ・サービス信託 銀行株式会社(信託口)	東京都中央区晴海1丁目8-11	963,400	2.09
日本マスタートラスト信託銀行 株式会社(信託口)	東京都港区浜松町2丁目11番3号	897,100	1.95
西 端 慶 久 (青 野 慶 久)	東京都文京区	826,100	1.80
楽天証券株式会社	世田谷区玉川1丁目14番1号	486,100	1.05
計	-	26,869,500	58.56

- (注) 1. 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)及び日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)は、全て信託業務に係る株式であります。
2. 上記のほか、自己株式が6,879,435株あります。

(6) 【議決権の状況】

【発行済株式】

2019年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 6,879,400		
完全議決権株式(その他)	普通株式 45,874,500	458,745	
単元未満株式	普通株式 3,900		
発行済株式総数	52,757,800		
総株主の議決権		458,745	

(注) 「単元未満株式」には、当社所有の自己株式35株を含んでおります。

【自己株式等】

2019年6月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数(株)	他人名義 所有株式数(株)	所有株式数 の合計(株)	発行済株式 総数に対する所 有株式数 の割合(%)
サイボウズ株式会社	東京都中央区日本橋 2丁目7番1号	6,879,400		6,879,400	13.03
計		6,879,400		6,879,400	13.03

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(2007年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(2019年4月1日から2019年6月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(2019年1月1日から2019年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人により四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,023	2,585
受取手形及び売掛金	1,761	1,987
仕掛品	6	0
原材料及び貯蔵品	30	25
前払費用	221	262
その他	46	45
貸倒引当金	6	11
流動資産合計	4,082	4,894
固定資産		
有形固定資産		
建物	872	991
減価償却累計額	219	254
建物(純額)	652	736
工具、器具及び備品	2,664	3,862
減価償却累計額	1,769	2,090
工具、器具及び備品(純額)	894	1,772
有形固定資産合計	1,547	2,508
無形固定資産		
ソフトウェア	76	48
ソフトウェア仮勘定	0	3
その他	13	13
無形固定資産合計	90	65
投資その他の資産		
投資有価証券	135	131
敷金及び保証金	852	848
破産更生債権等	1	1
繰延税金資産	615	582
その他	5	14
貸倒引当金	1	1
投資その他の資産合計	1,607	1,577
固定資産合計	3,246	4,152
資産合計	7,328	9,046

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11	1
短期借入金	-	1,000
未払金	723	538
未払費用	734	751
未払法人税等	367	507
前受金	1,790	2,262
その他	182	152
流動負債合計	3,809	5,215
固定負債		
資産除去債務	120	120
固定負債合計	120	120
負債合計	3,930	5,335
純資産の部		
株主資本		
資本金	613	613
資本剰余金	976	976
利益剰余金	3,551	3,874
自己株式	1,799	1,799
株主資本合計	3,342	3,665
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	15	18
為替換算調整勘定	40	27
その他の包括利益累計額合計	56	45
純資産合計	3,398	3,710
負債純資産合計	7,328	9,046

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年1月1日 至2018年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年6月30日)
売上高	5,523	6,547
売上原価	368	462
売上総利益	5,154	6,085
販売費及び一般管理費		
人件費	1,757	2,328
業務委託費	380	366
貸倒引当金繰入額	0	4
広告宣伝費	557	573
研究開発費	195	240
その他	1,192	1,318
販売費及び一般管理費合計	4,084	4,833
営業利益	1,069	1,252
営業外収益		
受取利息	2	0
受取配当金	0	0
受取手数料	-	1
還付消費税等	3	0
為替差益	9	-
未払配当金除斥益	-	1
ポイント収入額	-	2
その他	3	2
営業外収益合計	19	8
営業外費用		
支払利息	0	0
投資事業組合運用損	2	2
為替差損	-	4
その他	0	0
営業外費用合計	3	7
経常利益	1,085	1,254
特別利益		
固定資産売却益	-	0
固定資産受贈益	8	-
特別利益合計	8	0
特別損失		
減損損失	1	1
固定資産除売却損	4	0
事務所移転費用	2	-
のれん減損損失	-	13
特別損失合計	8	15
税金等調整前四半期純利益	1,086	1,238
法人税、住民税及び事業税	374	472
法人税等調整額	26	29
法人税等合計	400	502
四半期純利益	685	735
親会社株主に帰属する四半期純利益	685	735

【四半期連結包括利益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	685	735
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1	2
為替換算調整勘定	16	13
その他の包括利益合計	14	10
四半期包括利益	671	725
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	671	725

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,086	1,238
減価償却費	287	378
ソフトウェア償却費	37	24
固定資産除売却損益(は益)	4	0
固定資産受贈益	8	-
投資事業組合運用損益(は益)	2	2
減損損失	1	1
のれん減損損失	-	13
貸倒引当金の増減額(は減少)	0	5
受取利息及び受取配当金	2	0
支払利息	0	0
売上債権の増減額(は増加)	149	226
たな卸資産の増減額(は増加)	2	10
仕入債務の増減額(は減少)	0	9
未払金の増減額(は減少)	356	436
未払費用の増減額(は減少)	205	23
前受金の増減額(は減少)	257	476
その他	43	72
小計	914	1,430
利息及び配当金の受取額	0	5
利息の支払額	0	0
法人税等の支払額	274	345
法人税等の還付額	1	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	640	1,089
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	605	1,084
無形固定資産の取得による支出	30	5
投資有価証券の取得による支出	2	2
定期預金の払戻による収入	-	436
敷金及び保証金の差入による支出	39	4
敷金及び保証金の回収による収入	1	0
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	-	6
その他	0	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	675	665
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	950	1,000
配当金の支払額	411	411
財務活動によるキャッシュ・フロー	538	588
現金及び現金同等物に係る換算差額	12	14
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	490	998
現金及び現金同等物の期首残高	1,850	1,587
現金及び現金同等物の四半期末残高	1 2,340	1 2,585

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	
(1) 連結の範囲の重要な変更	当第2四半期連結会計期間より、持分法非適用関連会社であったKintone Australia Pty Ltdの全ての株式を取得したことにより、連結の範囲に含めております。
(2) 持分法適用の範囲の重要な変更	該当事項はありません。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)
現金及び預金	2,340百万円	2,585百万円
現金及び現金同等物	2,340	2,585

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)

1 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年3月30日 定時株主総会	普通株式	412	9.00	2017年12月31日	2018年4月2日	利益剰余金

(2) 基準日が当連結会計年度の開始の日から当四半期連結会計期間末までに属する配当のうち、配当の効力発生日が当四半期連結会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)

1 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年3月30日 定時株主総会	普通株式	412	9.00	2018年12月31日	2019年4月1日	利益剰余金

(2) 基準日が当連結会計年度の開始の日から当四半期連結会計期間末までに属する配当のうち、配当の効力発生日が当四半期連結会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自2018年1月1日 至2018年6月30日)

当第2四半期連結累計期間(自2019年1月1日 至2019年6月30日)

当社グループの報告セグメントは「ソフトウェアの開発・販売」のみであり、その他の事業セグメントは開示の重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)
1株当たり四半期純利益	14円94銭	16円04銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益(百万円)	685	735
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益(百万円)	685	735
普通株式の期中平均株式数(株)	45,878,365	45,878,365

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2019年 8月13日

サイボウズ株式会社
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	塚	原	克	哲
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	植	草		寛

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているサイボウズ株式会社の2019年1月1日から2019年12月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(2019年4月1日から2019年6月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(2019年1月1日から2019年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、サイボウズ株式会社及び連結子会社の2019年6月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。